

夢窓幼稚園通信第83号

2022年2月28日

たくさん雪が降った今年の冬も、いよいよ明日からの3月にバトンタッチです。

まだまだ冷たい風が吹くときもあるでしょうが、毎日に日射しが強くなり 暖かい春本番へと向かっていくことでしょう。

新しい季節に 私たち一人ひとり誰でもが、人生の中でこれまで経験したことのない「今から次の未来に向かひのまた新しい一歩を踏み出すこと」でしょう。

それぞれの願いと希望に向かって、ひとつひとつの歩みが少しでも納得のいくものであるために、今日をよろこび いっぱい心をこめて過したいものですね。

一方、希望の春を迎えるはずの昨今、かなり深刻な社会の状況に 憤りと怒りと悲しみを感じて過している私たちです。人間は一人ひとり 讚美に値する素晴らしい存在ですが、立場や集団を背景に権力を持ったときには、純人間的な立ち位置をいとも簡単に放棄し、悪魔的な考えを疑うことなく主張したり、人の生命の尊さを省みない意志を発動できてしまう... どうしようもない存在になってしまうのを目のあたりにはしています。

国家というのは、本来国民一人ひとりが例外なく平等でなくてはならない「法」を管理する役を担うのであって、経済生活や精神生活を統制したり 方向づけたりする機関ではないはずで。

決して遠い国の問題としてではなく、私たちの「精神の自由」と「経済生活における友愛」へ向かおうとする意志を失うことがないように、近現代の社会意識の光と影の課題を、先ず自らに問いたいと思います。

また身近な園の生活の中で、この数日いくつかのケガが発生してしまいました。

あらためて、安心安全に子どもたちが過せるために、環境を見直し必要があれば改善していくと共に、私たちの安全意識(危機管理意識)を確言認し合う予定です。

何かマイナスに見える出来事が生じた時に、本当のマイナスにしないために、次に向けての対応をできる限り適切にできるように、仕切り直しをしたいと思います。

昨日 毎年この時期にやってくる キジバトのつがいの2羽が桜の枝に止まっているのを見ました。

そして今日も朝から ポポロッポー ポポロッポー という啼き声が聞こえてきました。

また今年も卵を産んで、ひなが生まれ桜の花と共に春のよろこびを表現してくれることを楽しみにしたいと思います。

青バッチさんが新しい1ねんせいとして卒園に向けて盛り沢山の作業に取り組んでいます。

黄・赤・ピンクの子どもたちの進級への準備も間もなく始まります。

コロナで待機の方々も元気に戻ってこれますように。ケガも痛みがとれて一日も早く回復できますように。

一人ひとりがうれしく春を迎えられることを祈っています。

園長 升光 泰雄



青バッチ ソフィアの皆さんが 思いを寄せ合って

おじゃみをたくさんお家で 作り

先日 届けて下さいました。

“しあわせお守玉” “しあわせ袋” ほんとうに素敵な名前です。

25日(金) 年長児の集まりで 各クラスの子どもたちが預かり クラスの部屋に手渡されました。

とても とても うれしい 出来事でした!